

令和4年4月4日(月)

「杉田博名誉会長を偲ぶ会」を終えて

神奈川県バドミントン協会

今年、第75回を迎える全日本総合選手権大会に18歳から出場し、28年連続出場を果たすなど、日本バドミントン界に大きな足跡を残した、神奈川県バドミントン協会名誉会長の杉田博先生が、昨年11月25日に88歳で逝去されました。

教員として数多くのバドミントンプレイヤーを育て、自ら170回以上の各種全国大会に出場され偉大な成績を残されました。

晴天の4月2日(土)午後1時から「杉田博名誉会長を偲ぶ会」が、新横浜プリンスホテル3階の広い会場を二つお借りし開催されました。献花会場と先生の業績を展示した会場には12時半を過ぎたころから、遠方の方々をはじめ、日本バドミントン協会、関東バドミントン連盟の各都県協会の方々をはじめ、県内外の地区協会の方や、指導した高校の教え子の方々、レディースクラブの方々、そして先生のみならず奥様を慕う方々が参列し、多くの参加者で先生を偲びました。奥様も会場でお一人お一人からご挨拶を受け、懐かしくお話をされていました。

展示会場には、数多くのメダルやトロフィー、楯、写真パネルや思い出のアルバムが所狭しと並べられ、先生の業績がどれほどすごいものであったかを目の当たりにするものでした。また、プロジェクター2台、TV2台を使って全日本の各種大会の試合や叙勲を祝う会の様子を放映し、大会の試合映像には先生の雄姿が鮮やかに映し出されていて、訪れた皆様が見入っていました。この映像やアルバムは「杉田博氏を偲ぶ」特設サイトを設けて、期間限定で見られるようになっています。

18歳から84歳まで現役のバドミントンプレイヤーとしてコートに立ち続け、バドミントン指導に多くの功績を残した先生を誇りとし、先生の後続くプレイヤーを育て、神奈川県バドミントン協会を発展させていきたいと思っております。